

2018年6月5日

各 位

会 社 名 株式会社だいこう証券ビジネス
代表者名 代表取締役社長 御園生 悦夫
(コード：8692 東証第一部)
問合せ先 執行役員総合企画部長 大矢 光一
(電話番号 03-5665-3137)

サイバーセキュリティサービスを内藤証券に提供開始

当社の100%子会社である株式会社DSB情報システム(本社：東京都江東区、代表取締役社長：佐藤 公治)は、内藤証券株式会社(本社：大阪府大阪市、代表取締役社長：内藤 誠二郎)へ2018年1月よりサイバーセキュリティサービスの提供を開始しました。

昨今、金融分野におけるサイバーセキュリティに対する脅威は深刻化し、高度化・巧妙化したサイバー攻撃への対策が喫緊の課題となっております。DSB情報システムは、従来よりデータセンターを利用したサーバおよびネットワークの運用サービスを提供しておりますが、セキュリティをより強固にするため、サイバーセキュリティサービスを用意いたしました。本サービスは、セキュリティポリシーの策定支援から、次世代型ウィルス対策ソフトウェアの導入、インシデント発生時の対応、SIEM^(注1)を利用したサイバーセキュリティ監視・分析までをフルパッケージにてご提供し、お客様からお預かりしている重要データを悪意のある攻撃者から守ります。

DSB情報システムが導入支援を行う次世代型ウィルス対策ソフトウェアは、仮想環境を用意しプログラムを動かしてウィルスを判定する「サンドボックス型」や既知のウィルスの行動パターンを学習し怪しい振る舞いをするプログラムを検知・隔離・駆除する「機械学習(AI)型」を取り入れ、未知のウィルスからデータを保護します。さらに、ウィルス以外に外部からネットワーク経由でサーバ機器やネットワーク機器の脆弱性のあるプログラムに侵入し、直接重要情報を搾取する攻撃に対応するため、ログを収集して分析を行い、不正な通信の動きを検知しアラートを発報する機能を持つSIEMを利用したセキュリティ監視サービスにより、「入口対策(外部からの不正侵入防御)」「出口対策(マルウェアによる不正外部通信防御)」「内部対策(不正侵入があった際の感染被害防止)」の多層防御を実現します。

内藤証券におかれましては、金融庁が推進するサイバーセキュリティ強化に向けた取組方針に沿ったセキュリティ対策(サイバー攻撃の特定・防御・検知・対応・復旧)を検討されるなか、DSB情報システムが提供するサイバーセキュリティサービスをご評価いただき、この度導入いただく運びとなりました。

DSB情報システムは、今後とも金融・証券分野を支えるエンジニアリング集団として、安全でセキュアなICT^(注2)基盤をご利用いただくため、最新で高度なセキュリティサービスを提供してまいります。
※詳細につきましては、別紙をご参照ください。

(注1) SIEM (Security Information and Event Management/セキュリティ情報イベント管理)

(注2) ICT (Information and Communication Technology /情報や通信に関する技術、産業、設備、サービスの総称)

以上

<本件に関するお問合せ先>

株式会社DSB情報システム 金融システム事業部 小幡、末次 電話番号 03-5665-3465

サイバーセキュリティサービス概要

セキュリティルール策定支援

- セキュリティポリシー策定支援
- セキュリティ管理規定
- セキュリティリスク分析支援
- コンティンジェンシープラン策定支援

サイバーセキュリティ監視・分析サービス

- Web脆弱性診断サービス
- ネットワーク脆弱性診断サービス
- 標的型メール訓練サービス
- セキュリティログ監視サービス (SOC)



セキュリティ機器導入サービス

- IDS/IPS
- UTM/次世代型ファイアーウォール
- WAF/URLフィルタリング/
Webレピュテーション
- 次世代型ウィルス対策ソフトウェア
(機械学習(AI)型/サンドボックス型)
- IT資産管理ツール

インシデント対応サービス

- インシデント発生時対応支援
- インシデント調査分析支援
- インシデント発生後の改善策支援

サイバーセキュリティサービスシステム図

